

認知症に関する活動計画(概要)

静岡県作業療法士会では、学術部に所属する認知症班が認知症関連の活動を担当している。現在の班員は6名であり、県士会員に向けての研修会を担当するSIG事業と、当事者・家族・他職種等との連携や支援を目的としたワーキンググループ(WG)事業を主な活動としている。認知症班結成当初は研修会事業を主に行っていたが、2023年度からは認知症の人と家族の会静岡県支部(以下すぎなの会)の賛助会員となり、2024年度からは本人ミーティングでのレクリエーション活動を担当させていただいている。県士会員向けのアンケートでは、家族会や認知症カフェへの関心が高かったため、認知症班の活動を通して、県士会員への情報提供や地域活動への参加促進を行っている。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

静岡県版認知症本人希望大使の三浦氏や、すぎなの会会員、行政職員らと共に、静岡駅コンコースでのチラシ配りなどの啓発活動を実施している。平日の昼間のため忙しく通り過ぎる方がほとんどだが、足を止めて話を聞いてくださる方や、向こうから声を掛けてくださる方もおられた。また、前年に比べて配布部数を増刷したが、予定より30分以上早く配布し終えるなど、県民の関心の高さがうかがえる。(右の写真はR6年度の様子)



認知症の人と家族の会との連携事業

毎月開催されているすぎなの会のつどいに認知症班の班員を派遣し、本人ミーティングでの「OTタイム」を担当している。毎回異なる班員が交代で参加しているため、内容が大きく異なることの無いように大まかな内容は固定し、季節や参加者によって活動内容をアレンジしている。また、実施後に報告書をまとめて他メンバーとの情報共有を行っている。



【OTタイムの概要】

参加者: 当事者3~5名程度、支援者(すぎなの会会員)3名、OT1名

時間: 1時間程度

内容: ①あいさつ・オリエンテーション

②体操・ストレッチ

③レクリエーション

④歌唱 など

【参加者の声】

「相談に来る家族は、本人の前で苦悩を発言しづらいため別室で本人ミーティングを行っているが、座談会形式では当事者同士でコミュニケーションをとることや、話題を広げていくことも難しく困っていた。作業療法士がレクリエーションを提供してくれることで、当事者が楽しそうにミーティングに参加できるようになり、非常にうれしい。助かっている。」《支援者》

「いつも行ってるデイサービスより楽しいよ」《当事者》

「本人ミーティングで楽しそうにやってみたいで良かった。今度は自分も一緒にレクに参加してみようかな」《家族》



情報共有(メーリングリスト作成)や座談会(相談会)での仲間づくり事業

メーリングリストを作成し、認知症班の研修会案内や家族会での活動報告などを行っている。リストへの登録は、研修会や県学会で広報し、現在は85名となっている。認知症への興味関心が高い会員に直接働きかけることで、研修会の集客や、地域活動への参加促進を目指している。

また、県士会員向けにzoomでの座談会(相談会)を毎年実施している。10名程度の少グループで行い、参加者同士が気楽に質問し合えるような会にすることで、活発な意見交換が行われている。